

「山とみどりのフェスティバル」に出展！！ ～” 木工キーホルダー” づくりを体験～

4月29日(月)みのおキューズモール(箕面市)において、みのお山麓保全委員会主催の「山とみどりのフェスティバル」が開催され、当センターは箕面の森林を感じてもらおう取組として、「木工キーホルダー「もっくん」づくり」等の体験ブースを出展するとともに、森の働きが学べる紙芝居を上演しました。当日は曇りで強い日差しもなく、風も穏やかで過ごしやすいイベント日和となり、会場には約2,000名の方が来場されました。

展示ブースでは、あらかじめ細かく切っておいた木の枝から好きなものを選び、目玉をつけたり口を書いたりして、自分だけの「もっくん」を作ってもらった体験のほか、木のお絵描きストラップ制作体験やクロモジを用いた香り袋の配布を行いました。参加者からは「楽しく遊ばせてもらいました。」「クロモジについて初めて知りました。」などの感想をいただきました。

またステージにおいて、職員が作成した創作紙芝居「雨水のぼうけん」と「もくざいのヒミツ」を計2回上演し、たくさんのお子様たちに見てもらうことができました。

当センターでは、引き続きこのようなイベント等への参画を通じ、より多くの皆様に森林・林業の大切さを普及する取組を進めて参ります。



展示ブースの様子



創作紙芝居「雨水のぼうけん」の上演



『もっくんづくり』に使う枝を選ぶ参加者



『もっくんづくり』体験の様子

近畿大学の国有林視察

6月27日(木)、近畿大学農学部から30名(学生28名、教授2名)が箕面国有林を視察しました。

シカ被害防止対策の実習

まず、シカ被害防止対策の実習として、くくり罠設置の体験をしてもらいました。大阪府猟友会箕面支部の中垣氏(捕獲従事者)からくくり罠の設置方法や安全対策など、実践を交えた説明を受けた後、学生たちはいくつかのグループに分かれ実際にくくり罠を設置し、捕獲したときの作動などを確認してもらいました。学生のほとんどが初めての体験だったため、時間いっぱいまで自主的にシカ罠の設置を行うなど、関心が高いことに気づかされました。



中垣氏からの説明



中垣氏からの説明



罠の作動を体験



※くくり罠

獲物が足で罠を踏み抜くとバネの力で罠が作動し、ワイヤーが獣の足を括り(くくり)捕獲する仕組みの罠

『森の探検隊』の体験

次に、森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験してもらいました。学生には3つのグループに分かれて、探検ポイントを4~5つほど回り指令書の問題を自分なりに考えてもらいました。学生からは、「所定のポイント以外でも興味を引くような説明があった」「大人でも楽しめる内容であり、幅広い世代に森の良さを伝えられる」等の感想をもらいました。

短い時間での視察となりましたが、学生の方々が今回の視察により林業関係の仕事や、我々林野庁の仕事に興味を持てただけであれば嬉しいです。

当センターでは、今後も国有林における取組について理解を深める機会を積極的に作ってまいります。



「森の探検隊」の説明



国有林の施業についての説明

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL: 050-3160-6745/FAX: 06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@maff.go.jp

